

<府立高校改革推進計画に基づく>

第5次実施計画

平成20年3月
京都府教育委員会

府立高校改革推進計画に基づく 第5次実施計画

I 計画の趣旨

京都市・乙訓地域の公立高等学校入学者選抜制度は、昭和60年度の改善から20年以上が経過し、交通網の発達による通学条件の改善や各高校の特色化が図られる中、生徒が自分の能力・適性、興味・関心、進路希望などに応じて、これまで以上に主体的に希望する高校を選択できる通学区域や選抜方法へと改善することが求められています。

京都府教育委員会では、今後の通学区域・選抜方法の在り方と改善方策について検討するため、入学者選抜に係る懇談会や府民説明会を開催し、懇談会からの報告や説明会等いただいた様々な御意見をもとに京都市・乙訓地域の教育委員会とも十分連携して協議を進め、改善事項として決定しました。

今回は、高校に学ぶ生徒たちが、自らの進路希望に基づき、特色ある学校を主体的に選択できるよう制度を改善するとともに、新しい時代に対応する専門学科の充実を図り、既存の専門学科の改編も含め「第5次実施計画」として策定しました。

II 実施時期

平成21年度（平成21年4月入学者の選抜）

III 計画の内容

1 主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善

◎通学区域の改善

一人一人の希望に応じた高校選択の範囲を広げるため、通学区域を現行の4通学圏から2通学圏に拡大します。

<実施地域>	京都市・乙訓地域
<実施内容>	京都市北・東・南・西の4通学圏を再編し、京都市北・南の2通学圏を設定

◎新しい入学者選抜方法

普通科第I類に受験機会の複数化と多面的な評価尺度を取り入れた特色選抜を導入するとともに、通学圏を越えて生徒が志願できるよう選抜方法を改善します。

<実施地域>	京都市・乙訓地域
<実施内容>	①特色選抜の導入（普通科第I類） <ul style="list-style-type: none">・高校の特色に応じた生徒を募集・自己申告書、報告書、面接・作文等による選抜・普通科第I類の募集定員の10%以内を募集・普通科第I類を設置する北・南通学圏すべての高校に志願が可能

②通学圏を越えたシステムの導入

〔普通科第Ⅱ類〕

普通科第Ⅱ類を設置する北・南通学圏すべての高校に志願が可能
ただし、他圏から入学できるのは、募集定員の50%以内

〔普通科第Ⅰ類〕

募集定員の20%以内で普通科第Ⅰ類を設置する北・南通学圏すべての高校に特別活動・部活動による入学が可能
(一般選抜で普通科第Ⅰ類を第1志望とした場合)

2 新しい多様で柔軟な教育システムの構築

◎新しい時代に対応する専門学科の充実

○福祉に関する学科の改編

福祉サービスの拡大や質的向上が求められる中、豊かな人間性と福祉の心をはぐくみ、福祉に関する専門知識と技術を身に付け、福祉関連業務を支える人材を育成します。

<改編する専門学科>	府立京都八幡高校「人間環境科」を「人間科学科（仮称）」と「介護福祉科（仮称）」に改編
<通学区域>	府内全域
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学（適性検査を実施）
<一般選抜の実施方法>	単独選抜

○商業に関する学科の新設等

経済の情報化、金融・流通システムのネットワーク化等が急速に進む中で、社会のニーズや変化に的確に対応した京都ならではの特色ある商業教育を展開します。

<設置校及び学科>	府立京都すばる高校に「ビジネス探求科（仮称）」を新設するとともに、「会計科」を「会計科（キャリアコース：仮称）」と「会計科（ファイナンスコース：仮称）」に改編
<通学区域>	府内全域
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学
<一般選抜の実施方法>	単独選抜

○工業に関する学科の改編

ものづくりに関する基礎的知識・基本的技術をしっかりと身に付け、技術革新に柔軟に対応できる能力を高め、地元産業の活性化に貢献できる技術者を育成する新しい工業教育を展開します。

<改編する専門学科>	府立峰山高校「機械システム科」、「繊維デザイン科」を、「産業工学科（仮称）」に改編
<通学区域>	府内全域
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学
<一般選抜の実施方法>	単独選抜

参 考 资 料

《主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善》

通学区域の拡大と選抜制度の改善
— 京都市・乙訓地域 —

京都市・乙訓地域の4通学圏（北・東・南・西）を2通学圏（北・南）に拡大します。通学圏が広がることにより、生徒が自分の能力・適性、興味・関心、進路希望などに応じて、これまで以上に主体的に希望する高校を選択できるようになります。

また、普通科第Ⅰ類に特色選抜を導入し、受験機会の複数化と評価尺度の多元化を図るとともに、特別活動及び部活動に関連する入学校の希望と併せ京都市・乙訓地域内のどの高校も志願可能となります。

同時に、普通科第Ⅱ類についても、京都市・乙訓地域内のどの高校も志願可能となります。

1 通学圏の拡大

通学圏名	地 域	高等学校名
<p>新</p> <p>北通学圏</p>	北区、上京区、中京区、 右京区（周山中学校区を除く）、下京区（松原中学校区に限る）、 左京区、西京区	山城・鴨沂・洛北・北稜・ 朱雀・嵯峨野・北嵯峨・桂・ 洛西・紫野（市立）・堀川（市立） <計 11校>
<p>新</p> <p>南通学圏</p>	東山区、下京区（松原中学校区を除く）、南区、山科区、 伏見区、向日市、長岡京市、大山崎町、 八幡市（八幡長町、八幡樋ノ口及び川口高原に限る）、 久御山町（字大橋辺に限る）	洛東・鳥羽・桃山・東稜・ 洛水・向陽・乙訓・西乙訓・ 日吉ヶ丘（市立）・塔南（市立） <計 10校>

2 選抜方法の改善

	選抜方法	内 容
普通科第Ⅰ類	単独選抜	《特色選抜の導入》※推薦入学と同時期実施 ◆高校の特色に依りて、普通科第Ⅰ類募集定員の10%以内を募集 ◆自己申告書、面接・作文等及び中学校長からの報告書等により選抜 ◆普通科第Ⅰ類を設置する北・南通学圏内のどの高校も志願可能
	総合選抜	◆募集定員の20%以内で特別活動及び部活動に関連する入学校の希望について、普通科第Ⅰ類を設置する北・南通学圏内のどの高校も入学可能 ※一般選抜で普通科第Ⅰ類を第1志望とした場合 ※地理配分は募集定員の70%程度
普通科第Ⅱ類	単独選抜	◆普通科第Ⅱ類を設置する北・南通学圏内のどの高校も志願可能 ただし、他圏から入学できる者は募集定員の50%以内

福祉の心をはぐくみスペシャリストを育成する専門学科
— 京都八幡高校 南キャンパス —

京都八幡高校南キャンパスは、我が国の高齢化の進展等に伴う社会の要請にこたえるため、平成19年度に、「共生」を基本コンセプトとした人間科学・福祉系統の専門学科「人間環境科」を設置しました。

社会福祉士及び介護福祉士法の改正に伴い、介護福祉士国家試験の受験資格が平成21年度から変更されることに対応して、これまでの教育実践の継承・充実を図りながら、介護福祉士資格の取得はもとより、福祉に関する専門教育の一層の充実を図るため、平成21年度から、従来の「介護福祉コース」を福祉に関する専門学科として改編します。

また同時に、従来の「人間科学コース」を独立した専門学科に改編します。

京都八幡高校南キャンパスでは、平成19年度に介護に関する最新の知識や技術を習得するための実習棟が完成しており、あらゆる介護実習を行うことができます。

1 改編の概要

平成20年度			改編後	
学科等		募集定員	学科等	募集定員
人間環境科	人間科学コース	60名	人間科学科(仮称)	30名程度
	介護福祉コース		介護福祉科(仮称)	30名程度

※募集定員については、各年度、別に定めます。

2 設置する学科の内容

学科名(仮称)	内 容
人間科学科	これまでの「人間科学コース」の教育実践を継承・発展させ、福祉、理数系の専門科目を中心とした学習の充実を図り、教育、福祉、看護・医療系の大学等への進学を目指すとともに、将来的に人と関わる職業で活躍する人材を育成します。
介護福祉科	主に看護・福祉の専門科目の学習・実習により、在学中に介護福祉士国家試験の受験資格が取得でき、福祉関係の就職又は進学を目指すとともに、将来において福祉関連の分野で活躍するスペシャリストを育成します。

3 特色ある教育活動

介護福祉士国家試験の受験に必要な52単位の専門科目を配置し、京都府立医科大学等との高大連携や病院等の医療機関との連携を活用して、校外での学習・実習を多く取り入れ、実際的な福祉教育に取り組みます。

4 通学区域及び選抜方法

学科名	通学区域	選抜方法	一般選抜の選抜方法
人間科学科(仮称)	府内全域	一般選抜及び推薦入学 (適性検査実施)	単独選抜
介護福祉科(仮称)	府内全域	一般選抜及び推薦入学 (適性検査実施)	単独選抜

京都ならではの多様で特色ある商業に関する学科の改編
— 京都すばる高校 —

経済の情報化、金融・流通システムのネットワーク化等が急速に進む中で、社会のニーズや変化に的確に対応した、京都ならではの多様で特色ある商業教育を展開するため、平成21年度に、ビジネス探求科（仮称）を新設するとともに、従来の会計科に2つのコースを設置し、我が国の経済社会の発展に寄与する能力と態度を身に付けたスペシャリストの育成を図ります。

1 改編の概要

平成20年度		→	改編後	
学科等	学級数		学科等	学級数
会計科	2学級		キャリアコース(仮称)	2学級程度
			ファイナンスコース(仮称)	1学級程度
企画科	2学級		企画科	2学級程度
情報科学科	2学級		ビジネス探求科(仮称：新設)	1学級程度
			情報科学科	2学級程度

※募集定員については、各年度、別に定めます。

2 設置する学科・コースの内容

学科名	コース名	内 容
会計科	キャリアコース(仮称)	従来の会計科の教育内容を継承・発展させ、簿記・会計に関する分野の知識・技術の習得、会計活用能力や起業家精神を養います。
	ファイナンスコース(仮称)	経済の情報化・グローバル化、金融・流通システムの急速な変化に対応して、金融、証券、株式投資等に関する知識を身に付け、ファイナンシャル(財務)を担う人材の育成に努めます。
ビジネス探求科(仮称)		国際色豊かな伝統ある京都を学習の舞台としたフィールドワークをもとに、ビジネスの専門的知識や技能を身に付け、自らの未来を創造し、地域経済の発展に貢献する人材の育成に努めます。

3 特色ある教育活動

京都をフィールドベースに置きながら、同志社大学等との高大連携、京都経営者協会等との産学連携等を活用して、校外での学習を多く取り入れ、実践研究やビジネスプランニングを重視し、実質的なビジネス教育に取り組みます。

4 通学区域及び選抜方法

学科名	通学区域	選抜方法	一般選抜の選抜方法
会計科	府内全域	一般選抜及び推薦入学	単独選抜
ビジネス探求科(仮称)	府内全域	一般選抜及び推薦入学	単独選抜

《新しい多様で柔軟な教育システムの構築》

工業の基礎・基本技術を身に付け
 地元産業の活性化に貢献できる人材の育成
 — 峰 山 高 校 —

平成21年度、峰山高校の工業に関する学科を改編し、ものづくりに関する基礎的知識・基本的技術をしっかりと身に付け、将来において継続して学ぶ意欲と技術革新に柔軟に対応できる能力を高め、地元産業の活性化に貢献できる能力・技術を有する人材の育成を目指す新しい教育を展開します。

1 改編の概要

平成20年度		改 編 後	
学 科 等	募集定員		
機械システム科	30名	産業工学科(仮称)	
繊維デザイン科	30名		
		機械系統(仮称)	30名程度
		デザイン系統(仮称)	10名程度

※募集定員については、各年度、別に定めます。

2 産業工学科（仮称）と系統の内容

学科名(仮称)	系統名(仮称)	内 容
産業工学科	機械系統	・メカトロニクスの基礎的な知識やものづくりの技術を習得します。 (ものづくり機械実習、メカトロ実習等)
	デザイン系統	・コンピュータを活用して、広く産業デザインの技術を習得します。 (ものづくり実習、産業デザイン等)

3 特色ある教育活動

実践的な学校設定科目を多く設置し、本府「北部産業活性化拠点・京丹後」や地元企業、京都工芸繊維大学等との連携を強めながら、企業見学や長期インターンシップ等、校外での学習・実習を多く取り入れ、キャリア教育の充実、高大連携による高度な学習内容の充実、地元企業等との共同研究など、特色ある教育活動を展開します。

4 通学区域及び選抜方法

学 科 名	通 学 区 域	選 抜 方 法	一般選抜の選抜方法
産業工学科(仮称)	府 内 全 域	一般選抜及び推薦入学	単 独 選 抜

～ 未来デザイン・応援プラン ～
特色ある府立高校づくりをめざしています。



京都府教育庁指導部高校教育課高校改革室

*KYOTO PREFECTURAL BOARD of EDUCATION
HIGHSCHOOL EDUCATION REFORM OFFICE*

〒602-8570

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話 075-414-5853

Fax 075-414-5739

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kaikaku/>